

POWERLOOK2000による4色分解の比較

フラットベッドスキャナ UMAX POWERLOOK2000

●スキャン方式: 8000ピクセルCCD ●光学解像度: 1000×2000dpi
●濃度レンジ: 3.3D ●カラーモード: RGB各色12bit



binuscan Color Pro

スキャン: binuscan Color Pro 3.0付属 Magic Scan-binuscan x2.4.3を使用。
RGBモード/24bitスキャン。
入力解像度: 500dpi
出力解像度: 200dpi(100%)
色分解テーブル: binuscan

Quark用エクステンション binuscan JobManagerを使用し、Quark上で画像補正、4色分解、リサンプリング。



Adobe Photoshop

スキャン: POWERLOOK 2000付属 Magic Scan-Ver.2.4.1を使用。
RGBモード/24bitスキャン。
ガンマ1.5/R.G.B.をAuto-Levelで調整。
入力解像度: 500dpi
出力解像度: 200dpi(100%)
色分解テーブル: CMYK/J 3.0

Photoshopで画像補正、4色分解、リサンプリング。

低い解像度でも優れた補正で美しい画像を実現



スキャン: binuscan Color Pro 3.0付属 Magic Scan-binuscan x2.4.3を使用。
RGBモード/24bitスキャン。
入力解像度: 500dpi
出力解像度: 200dpi(100%)
色分解テーブル: binuscan

スキャン: binuscan Color Pro 3.0付属 Magic Scan-binuscan x2.4.3を使用。
RGBモード/24bitスキャン。
入力解像度: 500dpi
出力解像度: 350dpi(100%)
色分解テーブル: binuscan

独自のアルゴリズムによる優れた色補正により、通常の175線製版が必要とされる解像度より低い値の200dpiでも十分に美しい画像が得られます。これによりDTPワークでのデータの重さを軽減することができます。



スキャン: binuscan Color Pro 3.0付属 Magic Scan-binuscan x2.4.3を使用。RGBモード/24bitスキャン。入力解像度: 1000dpi 出力解像度: 200dpi(100%) 色分解テーブル: binuscan Quark用エクステンション binuscan JobManagerを使用し、Quark上で画像補正、4色分解、リサンプリング。

Photographer: 田中 茂 (スタースタジオ)

AD & DTP works: 小林博明 (K Plus artworks) System: Power Macintosh 9600/233 RAM544MB / HD10GB & ATTO Silicon Express MC + Radius StudioArray 4GB / Thunder 3D(Graphics) Workgroup Sever 9150 RAM140MB / HD5GB / Thunder IVGX1600 (layout)

POLASCAN45による4色分解の比較

フィルムスキャナ Polaroid POLASCAN45

●スキャン方式:RGB CCD ●光学解像度:2000×4000dpi ●濃度レンジ:3.4D ●カラーモード:RGB各色12bit



binuscan Color Pro

スキャン:POLASCAN付属
POLASCAN V1.0.1使用。
RGBモード/24bitスキャン。
色補正、自動共にオフ。
入力解像度:500dpi
出力解像度:200dpi(100%)
色分解テーブル:binuscan

Quark用エクステンション
binuscan JobManagerを
使用し、Quark上で画像補正、
4色分解、リサンプリング。



Adobe Photoshop

スキャン:POLASCAN付属
POLASCAN V1.0.1使用。
RGBモード/24bitスキャン。
色補正、自動共にオン。
入力解像度:500dpi
出力解像度:200dpi(100%)
色分解テーブル:CMYK/J 3.0

Photoshopで画像補正、4色
分解、リサンプリング。

低い解像度でも優れた補正で美しい画像を実現



スキャン:POLASCAN付属
POLASCAN V1.0.1使用。
RGBモード/24bitスキャン。
色補正、自動共にオフ。
入力解像度:500dpi
出力解像度:200dpi(100%)
色分解テーブル:binuscan

スキャン:POLASCAN付属
POLASCAN V1.0.1使用。
RGBモード/24bitスキャン。
色補正、自動共にオフ。
入力解像度:500dpi
出力解像度:350dpi(100%)
色分解テーブル:binuscan

独自のアルゴリズムによる優れた色補正により、通常の175線製版が必要とされる解像度より低い値の200dpiでも十分に美しい画像が得られます。これによりDTPワークでのデータの重さを軽減することができます。



スキャン:POLASCAN付属 POLASCAN V1.0.1使用。RGBモード/24bitスキャン。色補正、自動共にオフ。入力解像度:1000dpi 出力解像度:200dpi(100%) 色分解テーブル:binuscan Quark用エクステンションbinuscan JobManagerを使用し、Quark上で画像補正、4色分解、リサンプリング。

Photographer: 田中 茂(スタースタジオ)

AD & DTP works: 小林博明(K Plus artworks) System: Power Macintosh 9600/233 RAM544MB / HD10GB & ATTO Silicon Express MC + Radius StudioArray 4GB / Thunder 3D(Graphics) Workgroup Sever 9150 RAM140MB / HD5GB / Thunder IV GX1600 (layout)